

女性部 研修旅行

充実した 4日間



11月26日から11月29日までの4日間、女性部の研修旅行が行われ、参加した部員21名で関東方面の東京・神奈川・山梨を巡りました。

1日目は東京の品川プリンスホテル内アクアパーク品川へと向かい、ペンギンや、光と音を使ったイルカショーを見学しました。次に相田みつを美術館に行き、「人生の2時間を過ごす場所」をコンセプトとして、作品に触れるだけでなく、じっくりと心で味わう美術館を見学してきました。

2日目は神奈川県鶴岡八幡宮へと向かい自由散策としました。あいにくの雨により食べ歩きは難しかったですが、鎌倉小町通を満喫しました。次に小田原鈴廣にてお買い物、箱根ガラスの森美術館にて物づくり体

験を行い、ガラスのコップに砂を吹きかけてデザインを浮き上がらせる「サンドブラスト」に挑戦してきました。

3日目は山梨県の河口湖へ行き、猿まわし劇場、世界文化遺産の忍野八海、富士世界遺産センターを見学しました。3日目の宿泊先は部屋から富士山が見える「風のテラスKUKUNA」に宿泊し、朝目覚めると綺麗な富士山が見えました。

最終日は河口湖遊覧船に乗りクルージング、モンデ酒造株式会社でワイン工場の見学をしました。みはらし園にて昼食後、談合坂SAにてお買い物を楽しみ研修旅行が終了しました。旅行中天气が悪く工程も変更になってしまった所もありましたが、たくさんのお土産と思い出を持って帰ることができました。



初の試み!

JA木野・JAおとふけ合同企画

女性部限定GPS自動操舵体験試乗会&ランチ会



8月9日にJA木野・JAおとふけ女性部限定GPS自動操舵体験試乗会&ランチ会を開催し、両農協合わせて約50名の女性部員が参加しました。

この企画はホクレンと農業機械メーカー協力のもと開催され、自動操舵トラクターについて学び、女性ができる作業の選択肢を増やすことを目的に行われました。

当日は雨天のため、圃場ではなく下土幌のJA木野小麦乾燥調製施設内で、自動操舵トラクターの試乗を行いました。また、施設内にブースを設け、アシストスーツの試着体験や、農機メーカーによる機器の説明なども行われました。

参加者からは、「男性はこういう研修会が多いが、女性には無かったので、良い経験になった。」「普段トラクターは運転しないが、これなら出来そうだった。」などの感想がありました。

その後は十勝川温泉の焼き肉店「大地の匠」に移動しランチ会が行われ、女性部同士のつながりを深めました。

今回の合同企画は初の試みでしたが、今後このような機会が増え、トラクター操作ができる女性が増えることで、より効率的に作業ができ、労働力不足解消の一助になることが期待されます。

十勝の女性部が一堂に集う

JA十勝地区女性協議会研修会



12月12日、13日の両日、十勝幕別グランヴィリオホテルにて、JA十勝地区女性協議会研修会が開催され、十勝管内の女性部が集まりました。当JA女性部からは役員5名が参加しました。

初めに、文芸アナリスト、食料・農業アナリストの大金義昭氏より「いのちの花を咲かせましょ!～JA女性組織との

家の光の歩み～」と題した講演が行われました。

「笑顔は能力、不機嫌は環境破壊」など様々な言葉でユーモアを交えながら人として何が大切なのかを講演していただきました。

次に、北海道家の光大会で最優秀賞を受賞した、JA十勝地区女性協議会の川口亜矢子副会長による「家の光記事活用体験発表」が行われ、終了後にハーバリウム作成を行いました。

2日目は、「協同活動が果たす地域社会への役割について」と題してJA北海道中央会帯広支所の沼田光弘支所長による講演が行われ、協同組合の歴史やJAが行う事業などを教えていただきました。その後、ヴァイオリニストの和光憂人氏とピアニストの長尾崇人氏による「ヴァイオリン・ピアノによる演奏会」が行われクリスマスメドレーやクラシック等を演奏し、一曲一曲に盛大な拍手が贈られていました。

また、初日の懇親会にて当JA女性部が、キャンドィーズの音楽に合わせて踊りを披露し、会場を沸かせました。



3/18 ケアハウスあさひ苑での1枚。



木野農協女性部(中谷真智子部長)と音更町農協女性部(高橋紀子部長)が、音更町特別養護老人ホーム寿楽園とケアハウスあさひ苑に、紙パック回収益金で購入したトイレットペーパー40ロールと、部員から回収した未使用のタオル約130枚を寄贈しました。

1/25 ディノスポウル帯広での1枚。



ミセス交流会を開催し、6名が出席しました。今年から「ヤングミセス」から「ミセス」交流会に改名しました。ボウリングでは旭の白木真沙美さんが優勝し、その後はフードスタジアム木野店にて懇親会を行いました。